

地域日本語教育の体制の強化について

1. 目的

台東区の在住外国人は、令和7年2月1日現在、20,411人で区の全体の人口の約9.4%を占めており、令和9年の育成就労制度の始まりや、「特定技能」による受入れがすすむことを見据えると、さらなる増加が予想される。在住外国人を取り巻く課題が、増大・複雑化する中で、多文化共生社会を実現するためには、台東区に暮らす外国人が、地域社会の一員として、日常生活を円滑に送る上で必要な日本語能力を身に付け、日本人とともに活躍できる環境を整備することが重要である。区も令和3年度末に台東区多文化共生推進プランを策定したところだが、その後の東京における「地域日本語教育の体制づくり」のあり方の公表などの動向を踏まえ、台東区においても地域日本語教育の体制の強化を図る。

2. 国・都の動向

- ◆国 令和3年10月 日本語教育の参照枠 報告
令和4年 6月 「外国人との共生社会の実現に向けたロードマップ」策定
令和6年 4月 日本語教育機関認定法 施行
～日本語教師の国家資格の創設～
6月 入管法等の改正
～外国人材の育成や確保を目的とした制度の創設～
- ◆都 令和5年 3月 東京における「地域日本語教育の体制づくり」のあり方 公表
(別紙1)

3. 台東区における地域日本語教育の体制の強化の視点

これまでも台東区多文化共生推進プランに沿って各種事業を展開しているが、外国人に対する日本語教室と主に日本人に対する各種講座のあり方を見直し、「地域日本語教育の体制づくり」に基づき、以下の視点で、現在の事業を再構築する。(別紙2)

- ① ほとんど日本語がわからない方でも生活のために必要なレベルの日本語を習得できるよう、日本語教育の推進と水準の向上を図る。
- ② 外国にルーツをもつ人々が地域社会とつながりを持つしくみづくりを行う。
- ③ 新たに多文化キッズコーディネーター・地域日本語教育コーディネーターを配置することにより、体制の強化を行う。

4. 予算額(案)

歳入	2,426千円
歳出	6,598千円

5. 今後の予定

令和7年4月 事業実施

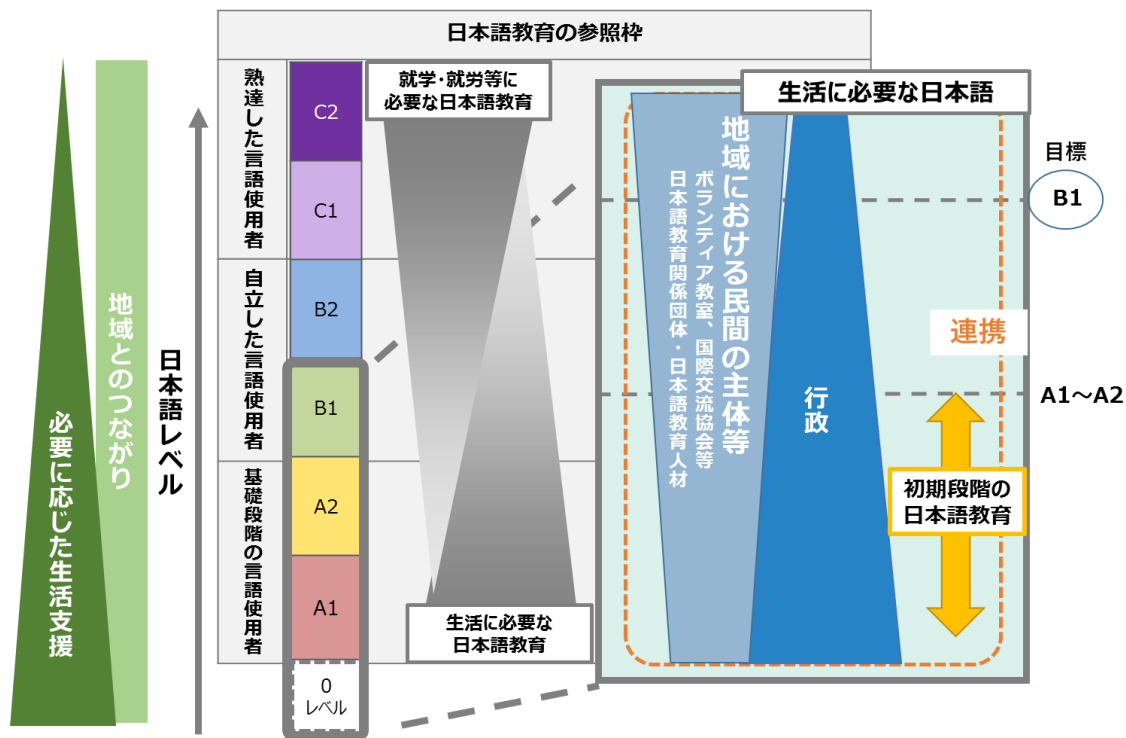
2 東京における地域日本語教育で目指すレベル

東京における「地域日本語教育の体制づくり」のあり方概要 P 3

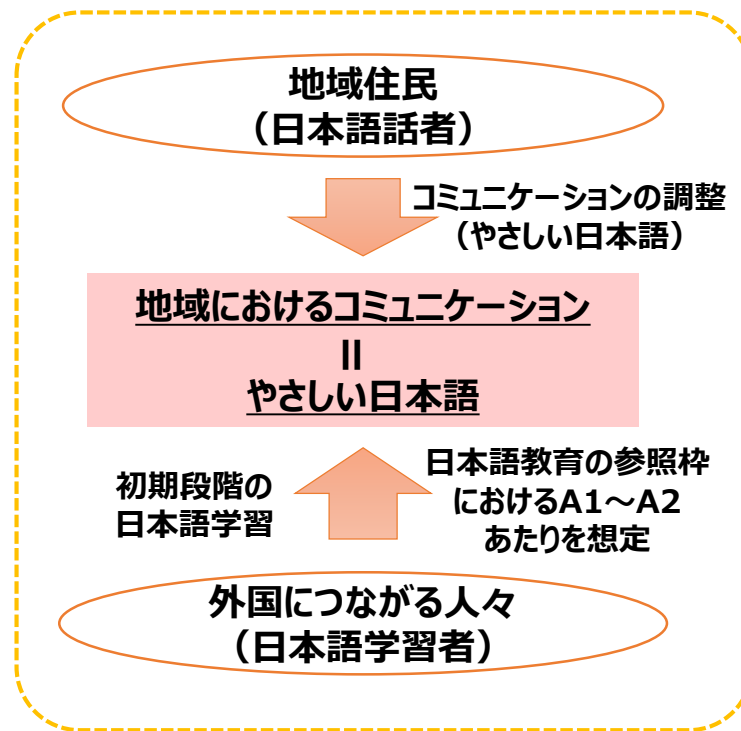
- **地域全体**で目指す東京における地域日本語教育のレベル：**B1(自立した言語使用者)**
- 特に**行政**が関わっていくべき初期段階の日本語教育：**A1～A2レベル(基礎段階の言語使用者)**

やさしい日本語によってコミュニケーションがとれる

【東京における地域日本語教育で目指す日本語レベルのイメージ】



【地域日本語教育とやさしい日本語の関係】



地域日本語教育の推進とやさしい日本語の普及啓発を両輪で進めていく

地域日本語教育の体制の強化に向けた事業一覧

別紙2

対象者	7年度事業と概要	6年度実施概要
外国人向け	<p>「外国人のための日本語教室(大人向け)」の実施 地域日本語教育コーディネーターを配置し、日本語学校や地域ボランティアと連携した日本語教師による初期段階の生活に必要な日本語教育の実施 ※定員50名に拡大 区直営から委託に変更予定</p>	<p>1コマ2時間×21回×3期、各期定員40名 レベルによる3つのクラス 区直営で実施 日本語講師は有償ボランティア(6人 3クラス×2回)</p>
	<p>子供日本語教室 ※規模は、6年度と同様</p>	<p>1コマ2時間×12回×3期、各期定員30名 年齢(日本語能力)による3つのクラス 事業委託により実施</p>
	<p>子供日本語教室における「保護者おしゃべりサロン」の実施 多文化キッズコーディネーターを配置し、子供日本語教室に通う保護者同士の交流を図る。</p>	
主に日本人向け	<p>(仮称)「やさしい日本語de話そう会」の実施 従来講座から定員を拡大し、やさしい日本語の啓発事業として講演会を実施 2時間×2期 各期定員80名程度</p>	
	<p>廃止</p>	<p>外国人とのコミュニケーション講座 【初歩編】 2時間×全2回(連続講座)×2期、各期定員40名 【入門編】 2時間×全6回(連続講座)×2期、各期定員40名 【実践編】 2時間×全4回、各回定員30名</p>
	<p>「日本語学習支援者養成講座」の実施 地域日本語教育を支える学習支援者の養成講座を実施(3時間×5回)+フィールドワーク(2時間×4回) 定員30名程度</p>	
	<p>多文化共生推進サポーターの育成・登録 養成講座(2時間×6回) 基礎・専門:定員50名 実践:30名 フォローアップ講座の実施(2回)+活動報告会(1回)各2時間</p>	<p>多文化共生推進サポーター養成講座(2時間×6回) 基礎・専門:定員50名 実践:30名</p>
外国人との交流事業	<p>「外国人との交流事業」の実施 これまで個別に行っていた事業を、地域日本語教育の体制づくりに資する事業として効率的に実施 ※規模は、6年度と同様</p>	<p>年3回 各回参加人数 40名程度</p>